

政策評価書（要旨） （事後の事業評価）

事業名	哨戒ヘリコプター(艦載型)SH-60K	担当部局	管理局開発計画課
政策分野	防衛装備の適正な維持・管理(研究開発)	実施時期	平成17年10月～18年3月

<b>事業の内容</b> ヘリコプター搭載護衛艦に搭載し、艦艇と一体となって対潜戦、対水上戦を含む各種の任務を遂行するため、SH-60Jをベースとして所要の能力向上を図った哨戒ヘリコプター(艦載型)SH-60Kの改造開発を行った。	9	10	11	12	13	14	15	16	完了年度
			試	作					16年度
									開発経費
									約402億円

評価の内容

<b>事業の目的</b> SH-60Jの除籍減耗への対応及び軍事科学技術のすう勢に対応しつつ、多様な任務に対して効果的に対応するため、必要な能力向上を図った哨戒ヘリコプター(艦載型)SH-60Kを開発することを目的とした。	<b>達成状況</b> 達成効果 潜水艦の無反響化など軍事科学技術のすう勢に対応した能力の維持・向上及び警戒・監視、輸送・救難など多様な事態に対しても効果的に対応していくことが可能となった。
<b>達成時期</b> 平成9年度から試作に着手し、平成16年度までに技術試験及び実用試験を終了し、所要の能力向上が図れたことを確認した。	<b>教訓等事項</b> 本事業は、技術試験と実用試験を同時に実施したため、事業全般にわたり技術開発の効率性及び運用者(海上自衛隊)の要求の一貫性を維持する重要性を確認できた。

今後の対応

本事業により、軍事科学技術のすう勢に応じた対潜水艦能力の向上、多様な任務への対応が可能となったことから、哨戒ヘリコプター(艦載型)SH-60Kの所要の整備を行う。 (平成13年度 事前の事業評価実施)	<b>その他の参考情報</b>
---	-----------------